



◀中央のいすに掛けられているのが、往時のランドセルとリュックサック。家具類は、修道院で使用されていたもの。右手奥の洗面器は、かつて同校に存在した寄宿舎で使っていたもの。当時はこれ一杯分の水で洗面・歯磨きを済ませなければならなかったという話に、生徒たちは驚くという。



▲かつて使用されていた「シグナル」と呼ばれる木札。カスターネットのようにカチカチと鳴らすその音が「静粛に」の合図であり、自然に生徒たちは傾聴の姿勢を取ったという。今でも生徒たちの「おしゃべりしている時とダメな時」の切り替えぶりは徹底している。



▲宗教的祭事に用いられてきた品々。手の込んだ刺しゅうが施されたタペストリーや、祭服と呼ばれる衣装、そしてそれを実際に使っている写真などが掲示されている。

▼かつての学校生活、日常の風景を切り取った写真の数々。生徒たちも、先輩である50年前の少女らの姿に自分を重ねる。凜としたたずまい、年頃の女の子らしいはにかんだ笑顔は、変わらない聖心生のアイデンティティーそのもの。



私学タイムズ

小林聖心女子学院



▲受け継がれてきた聖心生の誇りと心。その長い歴史の重みを物語るような格調高い扉、輝く文字盤が印象的な「アーカイブ」の部屋。入り口周辺にも、往時の写真や年表などが多数掲示されている。



▲「アーカイブ」を見学した学院の小学生から寄せられた感想。「戦時中、学院が軍需工場に供与されていた」という事実を知り驚いたことがつづられている。シスター景山は「小さな児童であっても、何かを感じてもらえるような、誰にとっても学びのある場所にしたい」と語る。



▲「アーカイブ」の部屋の中央の机には学校関連、それを取り囲むように左側には修道院、右側には学校関連の展示物が並ぶ。その多くは、実際に手に取って見ることができる。「歴史を語って聞かせるだけでなく、実際に触れることに意義がある」と語るシスター景山。

うのか、やはり学校関連の展示品は、生徒たちにとっても特に身近に感じるようです。写真が伝える数十年前の学校の姿に、「あれ？ここにある施設は何？」などと興味津々。たとえば寄宿舎の写真がそうです。交通機関の発達などにより寄宿舎はなくなりましたが、同校はもとも寄宿学校であり1970年代まで続いています。こうした写真を機に学校の歴史に興味を持つ生徒も多く、当時の寄宿生活や学校の様子をシスターから教えてもらうなど、勉強や交流の機会となつていきます。

さて、この「アーカイブ」ですが、設置にあたってプロジェクトの先頭に立ち、今もこの部屋を管理するのがシスター景山佐和子。自ら資料収集や整理・展示に奔走し、周囲の助けを得ながらも、ほぼ独力でそれを成し遂げたという気骨のあるシスターです。かつて修道者のリネンルームとして使用されていたこの部屋は、プロジェクトがスタートした時は埃をかぶり、ものがいっぱいで、何から手をつけてよいのかわからなかったと笑います。それでも1年以上をかけて部屋を創り

閑静な丘の上に建ち、独特の凜としたたずまいが印象的な同校。今年創立90周年を迎えた長い歴史を誇ります。その中で、昨年誕生したのが「アーカイブ」の部屋。これは、同校とその母体である聖心会が歩んできた軌跡を今に伝える貴重な写真や資料を保管・展示した、いわば「小林聖心の歴史博物館」です。卒業生にとっては心のより所として、在校生にとっては学院の魅力や歴史を知る意外な発見の場として、人気の施設となつていきます。

「今後は学校の記念日などに、それにちなんだ特別展示を企画したい。他の聖心系列校アーカイブとの連携も考えています。もっとITを使って、検索機能を持たせるのもいいですね」と、アイデアは止まらないようです。シスターのこのバイタリテイ、それもひとつの「聖心らしさ」なのでしょう。卒業生が展示品を寄贈してくれることもあるそうで、彼女たちはみんな「後輩たちが、もっと小林聖心のことを知ってくれたらうれしい」と口をそろえるそうです。それはまさしく、愛校心そのもの。もちろんその思いは、後輩たちに着実に受け継がれているはず。



▲部屋の創設に際し、資料収集と整理に東奔西走。現在もそれを進化させながら学院の全てに惜しみない愛情を注ぐ、シスター景山佐和子。「『アーカイブ』の部屋は、伝統の中で教育の精神を探し出す場所なのです」。

展示品のカテゴリーは、大きく分けて二種類。ひとつは、母体である「修道院関連」のもので、往時に想いを馳せる貴重な品々が多数収められています。たとえば、創立者の聖マгдаレナ・ソフィア・バラが遺した約200

年前の直筆メッセージは、たとえフランス語が読めなくとも、伝わるものを感じずにはいられません。また、初代学院長のマザー・マイヤーが晩年に使用していた車いすも鎮座しています。当時の作りなので非常に重く、「乗るのも押すのも大変！」と生徒たちも驚くそうです。ほかにもカトリックの貴重な図書、鮮やかな刺しゅうの祭服、聖マгдаレナ・ソフィアのハンカチなどが、かなり良い状態で保存されています。そしてもうひとつのカテゴリーが、「学校関連」のもの。かつての聖心生の通信簿やランドセル、卒業時に授けられる代々のバッジ、初めて学校として認可を受けた際の認可証のコピーも、大切に展示されています。自分たちの学校生活とリンクさせてしま